

国際交流員のコラム

去年の8月に鹿児島へ到着してから、私は鹿児島市を満喫しています。城山展望台から桜島を眺める、島津家の別邸で世界文化遺産に指定されている仙巖園でじゃんぼ餅を食べる、興味深い水中の世界を紹介してくれる鹿児島水族館のイルカショーに感動するなど、市内のあらゆる観光スポットをこの1年間に堪能しました。

そこで、最近では、新しい冒険を求めています。いろいろ調べながら日帰り旅行先の候補を絞り込み、計画を立てました。薩摩半島の最南端、長崎鼻へ！

私は車を持っていないため、JR指宿枕崎線で移動しましたが、車があったとしても電車が一番快適かと思いました。窓から錦江湾を見下ろし、鹿児島の絶景を楽しみながら鉄道旅行の醍醐味を味わうことができます。私はイヤホンをつけ、最近海外でもはやっているシティポップを旅のBGMにしました。

そして、長崎鼻の最寄り駅、西大山駅で降りましたが、西大山駅は普通の駅ではありません。JR日本最南端の駅です！薩摩の富士山とも呼ばれる開聞岳を背景に、意外と謙虚な場所でした。単線の線路で、ホームにはわずか3個の席が設置されており、電車を乗り遅れると2～3時間待たないといけないときもあるようです。でも、これこそ魅力的な場所だと思いました。



指宿枕崎線の景色



駅の前にも「幸せの鐘」があり、そ

の隣に指宿を代表する菜の花の黄色で彩られたポストが立っています。ポストも「幸せを届けるポスト」と呼ばれているらしいです。皆さんも西大山駅に行く機会があれば、鐘を鳴らし、大切な人に手紙を送ってみませんか？

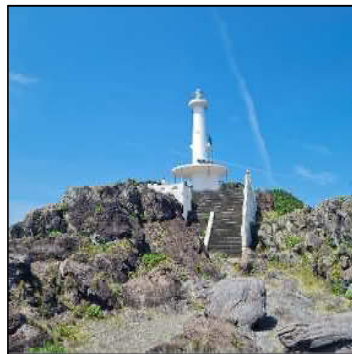




開聞岳

駅から歩いて1時間程度で長崎鼻へ行けます。畑の間を通りながら、私は何回も立ち止まり、開聞岳を見上げました。そして、サツマイモを薩摩へ伝えた前田利右衛門をたたえる徳光神社も近くにあったので、途中で立ち寄ることにしました。

長崎鼻にたどり着いたら、まるで別世界に入ったかのような感じでした。メルヘンチックな灯台の後ろに岩礁が海へ続き、なぜか原始地球に思いを馳せました。火山地域と知られているこの場所に、打ち寄せる波の音やタイドプール。生命そのものがこのような場所で誕生したのかなと空想してしまいました。



長崎鼻の灯台



灯台の後ろにある岩礁

そして、岩礁の先端に立ち、水平線まで続く海を眺めながら、不思議なことに気付きました。

「あそこに何か影があるみたいだけど...」

驚きましたが、屋久島の姿がぼんやりと見えていました！今年1月に屋久島に行きましたが、当時はトッピーで渡り、距離がかなりあると感じました。本土から屋久島が見えるとは思いませんでした！



長崎鼻から見える島々

鹿児島市に帰る前、もう一つの場所に立ち寄りたくて行ってきました。それは、長崎鼻灯台の隣に建っている特色のある竜宮神社です。竜宮伝説に出てくる竜宮城をモチーフにしており、うろこを連想させる建築や朱色に彩られた屋根など、迫力が感じられました！

この夏の冒険を精一杯楽しみました。この風光明媚な地域に魅力的な観光スポットがたくさんあるので、長崎鼻へ冒険をしてみませんか？



竜宮神社